彦根愛知犬上地域新ごみ処理施設建設に係る
第10回説明会　概要

日　　時	平成30年5月20日（日）午後20時00分～午後22時00分	
場　　所	愛荘町（蚊野区）	
参 加 者	83名	
	愛荘町蚊野地区	（男性58名、女性25名）
	彦根愛知犬上広域行政組合	大久保管理者（彦根市長）
	愛荘町	総合政策部 小杉部長、環境対策課 上林課長
	事務局	神細工事務局長、建設推進室（杉山室長、宮川主幹、山本主幹、尾崎室長補佐、高尾主任）
	コンサル業者	パシフィックコンサルタンツ株式会社大阪本社 資源循環室（枝澤課長、山﨑技師）、地域創造室（有田課長）
次　　第	1　開会 2　挨拶 　(1)　大久保管理者 3　内容 　(1)　資料に基づき説明（これまでの経緯、現有施設の状況について、施設整備基本計画素案について） 　(2)　質疑応答	

質疑応答	
【質問１】	岩倉川の北側に専用の道路をつけるということですけれども、307号から下りてくるパッカー車、それとか甲良町の岡寺地区を通るようなパッカー車というのはないのでしょうか。必ずそこを迂回してパッカー車はごみ処理場へ入ってくるのですか。
【回答１】	パッカー車につきましては、許可業者さん、事業系のごみを搬入されるようなパッカー車につきましても、岩倉川の北に予定をしております道を通っていただくように今後そういう条件をつけさせていただくようになると思います。
【質問２】	竹原に最終的に決定した、「熟慮いたしました」と話されたのですが、一体何を熟慮したのかが見えていないんです。ほかの候補地、5カ所ありました。その熟慮をしたというのは何を基準にして熟慮して決めたのか。5カ所あったときにはポイントがいろいろあると思います。経費のこととか、いろいろなことがあったのですが、「いろいろなこういうものがありました。そのポイントが各手続きでこうなりました。よって竹原になりました。」という数値的なものが全く出てきていないんですよね。言い方は悪いですが、考えてなくて、竹原１本で決めた、説明会では熟慮しましたと言いましょう、私にはそういうふうにしか聞こえてない。そこにはどういうポイントで、各点数で決めて、目に見える数値化された部分を聞きたいのですが、お願いします。なぜ出さないのですか。

【回答２】（管理者）	選定委員会で数値化して出されたものがございます。5 つの応募地から点数化して順位を決めていただきました。1 位が彦根の地区です。先ほど申しましたように政策判断で 1 位を外すということを管理者会では合意をいたしました。2 位であった竹原区について、ここについては各首長さん方が外すという理由が見当たらないということは同意をした。そういう結果、私が総合判断として 2 位であった竹原区にお願いしたいということになったわけでございますが、数値についてはご説明をさせていただきます。 選定委員会での数値の結果につきましては、その概要版をホームページにも掲載しておるのですが、今申し上げますと、1 位のところが総合点数で 73.38、2 位が竹原と申し上げておりますが、71.21、3 位の応募地が 70.15、4 位が 69.07、5 位の応募地が 68.31 という点数でございます。
【質問２】補足	それは総合点ですか。何があっての総合点なんですか。
【回答２】補足	公募という形で建設候補地を決定するに当たりまして、まず選定委員会という組織を立ち上げまして、その中でどういう評価をもとにして場所を決めていくか、あるいは公募、どういう条件で募集をさせていただくかというところを検討させていただきました。 そして応募いただきました 5 つの応募地に対しまして、具体的に申しますと 22 項目の評価項目を設けまして、それについて 80 点という評価点数をつけさせていただきました。 その後、2 年にわたり開催してきました検討委員会の各それぞれの専門家の委員さんに今までの状況も踏まえて、特に気にされている点というところで自由配点ということで 20 点という項目を設けて、最終的に 100 点満点の中で何点というような配点を行いました。 80 点の項目につきましては大きく 4 つの視点、環境への配慮、計画的な財政運営、地元の合意形成、そして安全・安心の確保の視点、そういう 4 つの大きい視点を設けまして、その中で例えば活断層との関係ですとか、地盤の軟弱強度ですとか、あるいは道路の混雑度、敷地面積そのもののこと、いろいろな 22 項目を設けまして評価をそれぞれ行ったものを積み重ねているということになります。
【質問３】	恐れ入りますが、もう一度、1 位のところを外された理由を明快にお願いしたいと思います。
【回答３】（管理者）	私と 4 町の町長、彦根市の副市長、このメンバーで管理者会を形成しております。そこで選定委員会で出された結論を改めてそれぞれに協議をさせていただきました。冒頭申しました地盤の問題で、いわゆる用地取得とは別に土壌改良をするコストがかなりかかると見込んでおりました。冒頭に申しました断念をしたというところから 1.5km 程度しか離れていない。私ども彦根の場合は稲枝駅の改修を一昨年から始めて、あの稲枝駅のところでさえ地盤が悪くて土壌改良の予算を追加投入、2 億数千万入れました。そういうことがありましたので、石寺で断念したときに見積もられた予算が 22 億という額でしたので、そこまでは行かないかもわからないけれども、かなり土壌改良費がかかるだろうということを前提に議論をいたしました。 他方、2 位であった竹原は地盤に関しては軟弱地盤ではないので、緩やかに坂になっているために、いわゆるこの種の施設は設計しやすいという意見も我々の中ではありました。 同時に、私ども彦根の農業委員会から、この辺は実際に耕作されている優良農地、青地でございますので、公共施設であっても青地を積極的に検討するということは避けてほしい、優良農地を生かしてほしいという意見書をいただいておりました。そういうことを管

理者会でいろいろと協議をさせていただいて、現実、耕作をしっかり大規模農家がされているということもあるし、どうしてもここを選ぶという積極的な理由に欠けるという首長の判断がそこにあったとご理解いただきたいと思います。

他方、竹原について、逆に竹原を外して3位のところを積極的に選ぶという理由が見当たらないということもございました。そういう中で、竹原の選考結果を尊重させていただいたということでございます。

【質問４】 先ほどの 22 項目の中に地盤が入っているようにお聞きしましたし、経費の問題も入っているようにお聞きしました。今おっしゃったことは若干矛盾するように感じたのですが、市長がおっしゃるのでしたら、今のような内容でしたら、5 つの候補地が出たときに頭から 1 番と出たところを外すべきじゃなったのではないでしょうか。せっかく選定委員会が点数までつけて、22 項目で点数をつけられて 1 位が決まった。その結果を覆すのでしたら、最初から地盤が悪いよ、優良農地だよということ、それから経費がかかる、高くつくということでしたら、最初に管理者会でそこを外されて、4 つのところでご検討いただいたほうが、私が聞いていてなるほどなと。せっかく点数まで、22 項目の点数も、そこが入っていなかったというのならまた別ですけれども、入っていたようにお聞きしましたので、その辺が疑問に感じました。

【回答４】（管理者） 私ども管理者会、いずれの首長も選定委員会に対して選考過程で何がしかのご意見を申し上げておりません。一切のことは独立して中立公平に選んでいただくということで検討していただきまた。石寺を断念したときの地盤改良費というものが選定委員会の方々がご存じだったかどうかということは私もわかりません。私は後にその資料を振り返りまして当たって検討した。その時点で土壌改良費がいくらかかるということを示されたというふうには聞いてございませんので、そこは踏み込んでデータを出すというところまで行かなかったと考えてございます。

【質問５】 今の話ですと、首長は土壌の専門家ではないですよね。専門家に対して費用なりを示さないで順位をつけてもらった。首長さんが 1 位は駄目よという話はできるのですか。その中で。するのであれば、はなから、今話されたように、前提にちゃんとそういう費用を言ってから、その辺も含めて検討してもらうのが当たり前じゃないですか。だから、2 位が 3 位に回す理由がないから 2 位でやりますよというやり方はおかしいですよね。1 位は駄目でしたよという判断をするのが、プロであればいいですが、行政のプロかもしれませんが、そういういろいろな経緯のプロじゃないんだから、そういう人らに情報を示さなかったというのは、その辺は選定する意味で言うとミスがあったのではないですかね。

【回答５】（管理者） 5 つの候補地がすべて候補地になり得るという結論をいただいた。ただ、優先順位を付して回答していただいたということでございます。1 位から順に当たってくださいということです。

今冒頭で申しましたが、竹原もさまざまなデータをこれから取らなければならない。ボーリング調査をしなければなりません。ただ、1 位であった琵琶湖岸側ですが、ここについては近いところのデータを私どもは持っていたということは事実でございます。それはかなりかかるだろうということは考えておりましたが、選定委員会でもそのことは一定議論はされました。しかしいくらかかるというような数字までは調査してみないとわかりませんので、そこまでは言っていない。どこもそうなんです。どの応募地もそのデータを積極

	的に固めるところまではやっておられない。 ただ、申しましたように、今の状況、現在の土地利用の状態を見たときに、ここは外すべきではないかと政策的な判断として首長間では合意をしたというところがございます。現在、大規模農家が水稲作付をされていて、優良農地として使っておられるという現状があるということを見ると、積極的にそこを外しにいって施設を建てるということに躊躇せざるを得ないというのが我々首長の統一した考え方に至ったということでございます。
【意見１】	15 日の説明会のときにも意見が非常に集中したのがそこのところでしたよね。住民も納得できない。もちろん議会もほとんど賛同されてないですよね。そういう不透明な内容である。やはり住民の意見を聞く。そのために選定委員会を持たれた。だからいろんな専門家、11 名を集められたわけですね。それは住民の声なんですよね。そこで出てきた第 1 の候補、それはいろんなところから検討されて出されたと思うんです。だからそれを、先ほども出たのですが、15 日も同じだったと思います。なぜ行政のそれだけの判断で覆すのか。そこのところが一番納得できない。そしてこの後、素案とありますが、竹原を前提してという中で書かれてきていますが、ここまでは行かないですよ、そこのところをきちんとしない限り。 15 日のときには、やはりこれはもう 1 回白紙に戻してきちんと討議し直すべきだろう、そういう意見でしたよね。今のお話を聞いていて本当に強くそのように思います。
【質問６】	今の造成の経費の件で、関連で質問させてもらいます。 その前に、今日の経過の説明等の中で大久保管理者は今日は「選定委員会の結果を尊重しながら」という言葉は使われませんでした。過去の説明会では必ず使っておられます。先ほどもおっしゃったように 11 名の専門委員さんによって 22 項目にわたる選定評価の項目を 15 回にもわたって検討していただいているわけですね。その結果出された応募地③が 1 位であったというのを大久保管理者が軟弱地であるという観点から外されているわけです。それは 15 回にもわたって検討してこられた結果を尊重していることにはならないと思うんです。 と言いますのは、先ほどもおっしゃっていた造成の部分、これは選定委員会で応募地③は 6 億 1000 万で計上しておられます。竹原につきましては 1 億 8000 万です。だから竹原は 3 点の満点がついているわけですが、6.1 億、これは過去の説明会において大久保管理者がその近くが軟弱地盤で断念したときに 23 億という数字をおっしゃっていたと思うんです。だから 6 億 1000 万を 23 億に置き換えて計算し直してみたら確かに点数は下がります。しかし、総合点数においては依然として応募地③が 1 位なんです。 ということは何を示しているかということは、22 項目の造成にかかる部分を除いて、総合的に応募地③が適地であるということ、最適であるということを選定委員会のほうで示されていると思うんです。それを尊重せずに、軟弱地だから経費がかかるからということだけで外されるのはいかがなものかなと思います。それについてはどうですか。
【回答６】（管理者）	これは 15 日にもご指摘をいただいたところでございます。軟弱地盤の地盤改良費を含んでも、点数が減っても 1 位なんだから、そこを選ぶべきではないかというご意見でございます。私どもは市長、町長それぞれが選定委員会から出された意見をもとに協議をさせていただいて、私としては最終的に最大限尊重させていただいて、この順位で選んでいきますということで結論に達したところでございます。

	今申しましたとおり、これは古い地図で見ますと、断念したところというのはほぼ内湖の中に入っているんですね。1位になったところは内湖の端で、完全に内湖ではない。だからそこまではかからないだろうというふうにも思いました。ただ、先ほども申しましたように現に大規模農家が小作をされていて、優良農地として活用されているということがある。農業委員会からもそうした意見をいただいている。その状況と竹原との関係を見たときに、竹原でお願いするということが適当ではないかということを管理者会の総意として最終的にはまとまったということでございます。これはもちろん私が管理者としてどこにするか決めろと言われて、そのことを提起させていただいて、皆さんがそれならよろしいというふうにしていただいた。ただ、議会ではさまざまなご意見をいただいているということは事実でございます。議会の皆様もいろいろな地域のお声を聞かれてご判断をされているところでございますので、そこは私どもはさらに協議を重ねてご理解がいただけるように十分尽くしてまいりたいと思っております。
【質問７】	皆さんには詳しい資料が行っていないので申し訳ないのですが、22項目の中の1つとして「活断層との関係」という項目がございます。これはABCの3段階で評価をされていまして、Aにつきましては活断層から6km以上離れている、Bは敷地内に活断層は存在しないが6km以内に存在する、Cは敷地内に活断層が存在するということで、Cになるほうが一番危険ということになるのですが、それにつきまして選定委員会の結果を見てみますと、一番点数の高い応募地③はAの評価になっています。竹原についてはBになっています。Bというのは敷地内に活断層は存在しないが6km以内に存在するということで、これは琵琶湖西岸断層の常安寺断層が近くにございます。この辺についてインターネットで調べてみますと、近くを通る鈴鹿西縁断層帯は今後30年の間に地震が発生する可能性が我が国の主な活断層の中ではやや高いグループに属することになるとされております。これは非常に危惧されるところではないかなと思います。福島原発の例を挙げるまでもなく、絶対ということはございませんので、その辺が点数が一番高かった応募地③はAということで安全面から考えると適しているのではないかなと思うのですが、いかがですか。
【回答７】（管理者）	断層の問題を選定委員会でも協議していただいて、協議中に新たな断層が国土地理院でも発表されて、そうした関係も含めて調査をしていただきました。専門家の先生に実際にその応募地を歩いていただいたりして結論を得たものは、断層帯とされるラインの真上に建てるということでなければ影響は出ないだろう、何とか安全に稼働することができるだろうと。もちろん大きな地震があった場合の対策というものは別途作らなければならないわけでありますが、断層自体が建設に大きく影響するということにはならないという結果はいただいております。それはいろいろな条件がございます。いわゆる地先の安全度マップとか、琵琶湖の端（はた）ですと浸水域が何mというような地図も出されておりますので、一長一短ございます。ただ、総合的な検討の結果としてぜひとも竹原にお願いさせていただきたいという結論に至ったというところでございます。
【意見２】	（基本計画の内容説明について） その話はよろしいですわ。蚊野は3月25日に反対決議をして決めていますので竹原ありきの話はよろしいです。

【意見３】	言うてることがね、一番肝心な候補地を決める段階でまだ決まっていないのに、今も聞いたら、彦根市長の政治判断で第２候補に決めたということを言ってはりますやん。自分の選挙区でないところに決めたとしか聞こえませんのや。それを竹原地区の設備を説明していても関係ありませんて。あくまでも蚊野地区は反対ということで言うてるんです。そうでしょう。それで説明しても、施設を説明しても全然意味がないです。
【質問８】（意見２・３補足）	その辺は 15 日の説明会のときにもそういう観点だったと思うんです。根本の何で竹原なんやという部分が納得できていないのにどんどんどんどん竹原ありきで説明会をされる。結局それがアリバイづくりみたいになってしもうて、とても時間的な余裕がないのでここに決めます、住民には十分説明してきましたというアリバイづくりをしているんじゃないかなと感じるわけなんです。結果のところ、すべてが竹原ありきでの説明になってしまうので、その根本、何で竹原なんやという部分が納得されていないのに、そういう部分があるのでなかなか説明会がスムーズに行かないと思うんです。
【回答８】（管理者）	彦根市長の政治判断で愛荘町を選んだというご意見は、そういう見方が、私も彦根市長ですので、していただくということは私としては残念なのですが、そういう見方が現にあるということは理解いたします。 ただ、1 位から 5 位まで選定委員会で決めていただいた。順番に当たってくださいねと。1 位についてどうしましょう。管理者会議の早い段階でどうしましょうと。その段階で得ている地元の情報や周辺のことを改めてテーブルに出して、4 町長さんと協議をさせていただきました。そこで、じゃあこれ、今実際に水稲をやってはるところをやめてもろうて、農業委員会もよいと言うてはらへんのにそれで行くのかといったときに、それはちょっとまだほかに候補地があるのに、それを最優先で、選定委員会はそう言うてくれはったれども、そこを、じゃあ次善の策はないのかという話をさせていただいていると、2 位の竹原区の土地利用状況等々も一緒に検討させていただいて、そうしたら竹原にお願いするのがええのとちがうかということは一定第２回の管理者会議で一応合意は出たんですね。ただ、私どもとしては彦根の皆さんはほかに 3 つ応募してくださっているので、その応援団もおられますし、一定もっと深く検討させていただかんといかんということで、さらに検討を加えていったわけです。 私どもとしては最初は準工業地域でこういう施設がそもそも建てられるところがいいのではないかという話をさせていただきました。もちろんそういう用途地域ですから土地も高いです。車もぎょうさん通りますさかいに。そこで、そういうところをわざわざ選びに行くのかいなと、こういうお話になって紛糾してしまったという経過がございます。 したがって、これは本当に皆さんが聞いていただいて、何でそんなもの竹原にするのやというご懸念なりご不満なりを持っていただくのと同じように、我々も首長それぞれがどういうふうにして、どこにお願いするのが適当なのか一生懸命議論をさせていただいたし、熟考させてもらいました。 皆さんもご存じのとおりに彦根市は松原で広域の流域下水道の処理施設を持っています。私が住んでいる三津谷もすぐ上（かみ）には最終処分場がございました。今もまだ廃止ができていません。彦根の中山で、不燃物の最終処分場をようやく今中継地として、もう処分はあそこに埋め立てないところまで来ました。多賀では紫雲苑をやっていただいてい

る、豊郷では湖東豊楠苑をやっていただいている。それぞれに難しい施設です。私もようわかっています。だから、皆さんにとってこれは苦渋なお話だということもよくよく理解をした上で、しかしながらどこかでさせていただかなければならない。その中で、今もビデオを見ていただきましたが、それは一般的にはそんなに喜ばしいものではないかもわかりませんが、何とかそれを乗り越えられるようなさまざまな環境整備も含めて皆さんと一緒に議論させていただいて、地域がさらに、これは人口減少社会ではありますけれど、これがちょっとでも地域の活力が加わるようなものになれるかどうかということを議論させていただきたいと思って寄せていただいていますので、そのお言葉は私は胸に刻んで帰ります。しかしながらそんな思いでやらせていただいているということが……。

【質問９】　実際これで町が活性化になるのか。なりません。ごみ焼却炉があって、町が活性化しようと思ったらなりませんや、実際に。どうしてなりますの、活性化が。それで実際、岩倉水域は優良農地ばっかりなんです。米もおいしい米がとれますやん。それは下（しも）よりもずっとこっちのほうが、米を食べたらわかりますけど、味が違います。向こうは農業委員会が反対しているか知りませんけど、こちらはもっと優良農地がドンとあるんです。

【回答９】（管理者）　ごみ処理施設が周辺の農地に影響が出ないような最大限の努力をするということはもちろんです。先ほども申しましたように、法律を上回る厳しい基準、例えば中山の最終処分場がございます。そこから出てくる排水の水質は名神の近くを流れている小川から出てくる水よりもはるかにきれいです。そういうような厳しい基準でやらせていただく。

地域の活性化になるかどうか、雇用の面とか、あるいは余熱利用とか、これはまさにこれから皆さんのご意見を聞かせていただいてやっていかないかんことです。ですから、その入口論で話にならんとおっしゃっていただいても、これは後の話ができないわけでございますので。

先ほども申しましたが、これから我々は竹原でボーリング調査等々の必要な調査をさせていただいて、本当に竹原でお願いできるのかどうかということを検討していかなければなりません。同時に、そうしたらやれるとなったときには環境アセスもずいぶん時間がかかりますさかいに、そのやれるとなった折りに、それではどういうものを作るのかという話を今からさせてもらっておかないともう間に合わないというところでございますので、同時に進めていかせてもらわんなら。

ですから、皆様にとっては、そんな虫のええ話があろうかいなとおっしゃっていただくかわかりませんのやけど、これはやっぱり今やらせてもろうとかないといかん。だから、お叱りもいただきますし、そんなわけのわからん決め方はけしからんとおっしゃっていただくのも、これも受け止めて帰らせていただきます。ただ同時に、もしそうしたら作るんやったら、今のお話、搬入道路をどうするんや、雇用をどうするんや、今の環境基準をどうするんや、じゃあ余熱利用をどうするんや、地域振興にそしたら何ができるんやということを具体にご相談させていただく時間も必要だということでございますので、ぜひそこは不満やけれども一定ご理解を願う中で協議をさせていただきたいと思っています。

【質問１０】　もう１点、施設を作るに当たって、ごみを搬入する、やはり彦根市からごみが来る量が多いですやんか。そうなると運搬車の毎日のガソリン代、そして CO_2 の排出、そういうことも検討して算出していくのをなしにね、どれだけ地盤が経費がかかっても、常に毎日の経費がかかったら、それだけ税金の負担も多くなりますので、その辺も検討していただいて、

もう１回再検討で、もう１回候補地を洗い直したらどうかなと思うんです。彦根愛知犬上で一番端のほうに持ってきて、果たしてそれだけのガソリンをたいて運搬するだけの余地はあるのか。もっと近くにないのか。

【回答１０】（管理者）　どこに作ったら誰が得するんやという話もいろいろ議会でもやっていただいております。ただ、どこかに作ったら遠いところ近いところが必ず出てきます。

【質問１０】補足　真ん中に作ったら大丈夫。端に作るさかいにそうなるやん。

【回答１０】補足（管理者）　真ん中が応募してくださったらよろしいんやけど、応募しようかと言うてくださったところもあるんですよ。ところがやっぱりまとまらない。これは難しいんです。

【質問１０】補足　どこでも難しいんです。

【回答１０】補足（管理者）　ただ、地権者が皆さん納得されて、わしゃ売って、それで作ってもらおうと言っていただけるまとまったところがなかなか出てこない。幸い５つ応募してくださった。そこを検討させていただいたわけです。

やはり地権者の皆さんがこれで作っていただこうと一定決めていただいたということも重みがありますので、そこはしっかり受け止めて、我々も応募していただくときに地権者の同意をいただくのと、自治会の決議と、周辺の自治会の同意も合わせて出していただこうかということを言っていたんです、一番最初は。ところがこれをやったらとてもやないけれど、応募してくださる自治会がないやろうと。だからまず我々は町内で土地をまとめていただいて、町内で誘致をするという決議をしていただいたところまでにしようと。あとの周辺は今日のようにお叱りをいただいて、ご説明もさせていただいて、本当にできるかどうかこれから調査させていただいて、本当にできるかどうか決めて、やれるかどうかということを判断して議会に提出しなければなりません。ここでさせていただきたいと。だから二重、三重に手続きを踏まなければならないということでございます。

したがって、その間にこうした皆様方との話し合いも重ねさせていただいて、もしそれでできるとなった、やるとなったときにどういうものを作って、どういう還元があって、地域振興はどういうものなんやということをしっかり見定めていただきながら歩まないとならないものでございますので、ぜひそこはご理解を頂戴したいと思っています。

【意見４】　彦根の原に行ってくださいよ。先ほど管理者の方も言われましたけれども、彦根はここの施設を持っている、多賀はある施設を持っている。愛荘町はないから受けよという、そういう言い方はおかしい。

【管理者】　愛荘が何も受けておられないからやってくださいということは全く思っていません。

【意見４】補足　そういう言い方や

【管理者】補足　どこかで作らせていただかなければならない。愛荘も安定型の処分場も一部持っておられますよね。いずれにしてもどこかにお願いをしなければならないんだけれども、ないからやってくれということを申し上げているわけではありません。５つ応募いただいた応募地から選んだということです。応募地から選ばせていただいた。

【質問１１】　今日こういう説明会があるとお聞きして、決まったことやし、仕方ないかな、どんな感じかなと思って僕は正直寄せていただきました。けれども、今の大久保さんの話をお聞きしていましたら、決まっていないんですよね。まだ竹原でできるかどうかも地盤を調べない

	とわからないとか、今そういう段階なんですよね。 さっきから皆さんのをお聞きしていると、村としてみんな反対しているわけです。漠然とごみ処理場があるのは嫌じゃないですか。それが根本にあるわけね。それはどちらさんも一緒だと思うんです。 ただ、選定地で、さっきお話しされていたのは、皆さんいくつか手を挙げてくださいという中で選ばれたわけですよね。そういうのが５つあった。手を挙げられたということは、そちら様の立場としては心強いですね。嫌がっているところに無理に頼みに行って、昔みたいに強制的にという時代もあったみたいですが、それと比べたらそちらさんの仕事としては楽ですね。あんた手を挙げたんだから、そこにしようと選んだという形になるんですね。 けどね、農業の今のいい土地だとか何とかという前提のもとに、たくさん今この地域にも住んでいますよね。さっきの中山、あそこなんて今正直言いまして耕作放棄じゃないですか。広い土地余っているじゃないですか。たくさんできる場所はあるわけですね。さっきの草津の処理場なんかも、あそこは馬場町ですか、山寺ですね。草津の中でも山寄りで人がほとんどいないところですね。何でそういうところをこの地域で、そちらさんのご苦労として採用されなかったか。なぜわざわざ、愛荘町も田舎は田舎ですけど、地域にまだこの部落でも 1000 人近く住んでいますしね、そういう場所を選ぶのか。今話したように市長の地元の中山町、あそこなんかも本当にいっぱい土地が余っていますよね。耕作放棄地がたくさん、林になっていますよね。今言われた処理場もずいぶんと前からあります。だから土地としてはあるわけです。なぜそういうところを開拓していかないのかなと。手を挙げてくれたら、それは楽ですよね。今の５つのところが、それぞれが賛成して挙げているのかどうかというのはわからない。今たまたま竹原の人かて、まだ売れていないですよね、あそこね。これからの話でしょう。そうしたらまだそういう段階じゃないですか。だったらそれまでに皆さんが言われたみたいに、前もって１年、2 年、3 年前から話がなかったのかとかいうこともわかります。早くから話をすればこういう反対が出てくるから嫌だという思いもあるでしょうけれども、一応順番から言えばそういう形ですよね。だから、今の話、ここは聞く耳を持たないと皆さんおっしゃっているので、何であっても反対と言われているので、まだ決まっていないのだったらそういう人がいないところを選べる場所というのがこの彦根地区からどこかにないかなと思うんです。探せられないかな。どう無理なんですか。
【回答１１】 （管理者）	冒頭に申しましたとおり、これまで行政が、ここがよかろうということでいろんな方法で当たってきた。ところが断念をしてきた。地権者の理解を得られずということもあり。その反省に立って、公募をして、まず自治会で検討していただいて、地権者の同意が得られて、地域振興を一緒に考えていこうという自治会が手を挙げてくださった。いろいろな話が、そう応募をするにはいろんな自治会が検討いただいたと聞いています。甲良町でも多賀の一部でも彦根でもほかに何カ所か自治会でご検討いただいたということは聞いておりました。ただ、しっかりまとまって、地権者の同意を得て公募をいただいたというところは５つでございました。その中から選ばせていただいたということでございます。
【質問１２】	いろいろな説明の中で、点数で第１位となった彦根地域は優良農地があるからと言われますが、先ほど市長が言われましたよね。ほかのごみ処理場で今計画しているごみ処理場か

	らの排水、排気は農業地域に影響がないレベルですというのであれば、なぜそこに当たらないんですか。そこに当たって、そこの地権者の方々と話をして合意が全く得られませんでした、断念せざるを得ません、だから第2候補の竹原地区でお願いできませんかという順番だったらまだここに来られたことは理解はします。でも行政判断で優良農地やからやめましょう、2番目に行きましょう。でも作る施設は農業に影響ないレベルですというのは言っていることがおかしいんちがいます？ それと、地域の合意のレベル、第1位の彦根地区のところは93%を超えています。竹原は83%です。10%差があります。地権者の数ですけれども、彦根は18名です。竹原は35名、それだけの差があります。竹原で83%の合意と言っても、地権者の方は実際反対されているんですか、合意されているんですか。そこも全く説明がないまま、1位の優良農地は外しましょう。ここは優良農地ですよ。それ、市長さんの説明、広域行政の皆さんの説明、矛盾していません？　そこの矛盾を明確にしてください。まず第1位のところに当たってください。そちらのほうが地域の合意が高いですから。それだけのことをやってから来てください。
【回答１２】（管理者）	自治会の状況等々も聞かせてはいただきました。詳しくは申し上げませんが、今優良農地と申し上げているのは焼却場が立地するところ、この農地が現在耕作をされていて優良農地であるということです。周辺のことを申し上げているわけではありません。建てるところ、その敷地です。敷地内が優良農地かどうかということを申し上げています。 自治会の状況も、情報として首長の中で共有をして検討はいたしました。竹原の今の状況、竹原区の地権者の皆様は全員が同意をしていただいているということでございます。
【回答１２】補足	土地所有者の方はすべて、建てる予定の土地所有者の方は賛成いただいているのですが、そこを耕作されている方というのが別の大規模農業の方ということで、そこの反対もあったと聞いております。
【質問１３】	だから、そこの反対があったって、その地域の方にその地域の自治会に対して点数が1位になりました、お願いできませんかということで行かれたんじゃないんでしょう。行ってないんでしょう？　何でですか。
【回答１３】（管理者）	それを今ご説明申し上げましたとおり、現状で耕作をされているということ、地権者は売りたいとおっしゃっているが、耕作をされている方が実際にある。その方は反対をされているという状況も聞かせていただいて、いろいろな状況を勘案して、首長会議で1位でお願いするのではなくて、2位で、比較検討いたしました結果、竹原区でお願いをしたいということになったということでございます。
【質問１４】	岩倉川の北側に道路を作るという話がありましたが、これは農地のところに作られるのと違うのですか。どこに作られるんですか。田んぼのところに作るんでしょう
【回答１４】（管理者）	その可能性はございます。
【質問１４】補足	あそこは優良農地ですよ。彦根のあそこはずっと優良農地ですよ。 それから、ばいじんの搬出の道路はどうされるんですか。それの計画道路は作られないんですか。
【回答１４】補足	搬出につきましては基本的には専用の道路を通って搬出していきます。

【質問１４】補足　作られるんですか。

【回答１４】補足　はい。

【質問１４】補足　今の搬入道路自体も優良農地の中に完全に入ると思います。ど真ん中でっしゃろ。それはやっぱりちょっとおかしい。

【質問１５】　優良農地のど真ん中に搬入用の道路を作る、その費用の計上が点数を見たら 3000 万です。3000 万で土地買収から道路まで全部できるのかというのが素朴な疑問です。

【回答１５】（管理者）　選定委員会のときに検討された内容というのは、冒頭、最小限のコストはこれぐらいだろうという話です。実際に竹原区でお願いしたいとさせていただいた後も常安寺や岩倉の皆様からも搬入道路の件をものすごくご指摘をいただいてきました。じゃあ十分な専用道路を確保するにはどれぐらいかかるのかということは別途見積もりをさせていただいています。これもまだ十分ではないと私も思っています。これはさらに検討を加えていかないといけないと思っています。したがって、この検討委員会で出されている数字というのは最低限のものですので、そこから必要なものを乗せていかなければならないという作業でございますので、これを今皆さんのご意見を聞かせていただきながらやっているというところでございます。

【質問１６】　リバースセンターと彦根市清掃センターは最終的にどうされるんですか。廃炉というか、なしにするんですか。

【回答１６】（管理者）　まだ検討が始まっておりません。どうするかというのはこれからです。

【質問１７】　3 分割してもいいわけですよね。リバースセンターと彦根市清掃センターと今度新しく作られるところと、どこだかわかりませんけれど、3 カ所にしてやる方法もあるわけですね。

【回答１７】（管理者）　そうすると高くつきすぎて、もたないと思います。

【回答】事務局補足　これまでご意見をいただく中で、搬入出ルートのことですとか、先ほど断層のこともありました。防災機能というところのお話も含めまして、実はそのあたりというのも基本計画の内容として含まれているところでございます。選定についてというところの部分でご納得いただけてないというところはあろうかと思いますけれども、先ほど区長さんがアリバイづくりということで言っていただきましたけれども、むしろそれは全く異なりまして、私たちは検討委員会を設けて昨年度この基本計画を策定させていただきまして一旦とりまとめ、全体像を作らせていただいて、これから皆様を回らせていただいて、いろいろな住民さんのご意見も聞きながら計画をより検討していくというような思いで来させていただいておりますので、本日私たち、当初 10 時ぐらいまでが最大かなというところで考えているところもあります。ご意見のほうをお聞きできるかどうかわかりませんが、一旦 15 分程度で基本計画についてご説明させていただけないかと思うのですが、区長さん、いかがでしょうか。

【意見５】　説明をされるのであれば、順序で言えば、例えば第 1 がどれだけ行かれたのかわからないけれども、駄目だったら、そこでどうしましょうか。第 2 というところで竹原に考えたいならどうしようか。周辺にお話に来るのだったらわかる。だけど、もう竹原だというふう

に決めてしまって、そして基本計画を作りました、話を聞いてください、反対するんですか。

我々は反対、反対と言っているのではなくて、やり方が、順序が逆でしょう。第１候補のところが、先ほど管理者が言われた農地委員会とかそういう反対の声が入っていると言われたんだけど、私たちはその時点では竹原が候補地に上がっているということも何も知らなかった。何も声が上げようがなかったです。そうでしょう。だから、その点でもアンフェアです。話が入ってきているのと、全く入っていないのと。もし次のところにというのであれば、候補地、手を挙げはるのはそこの自治会だけでというのはこれはわかったのですが、順序が逆になるというときにはきちんと周辺地域に決まる前の段階で話をしなければいけない。今のアクセスの道路もあるでしょう。そこだけの話ではないわけです。特に彦根の７割のごみが来るのだったら、端っこのところに来るということであれば、そういうようなことも当然考えられるし。だから周辺地域の話も聞かなければいけない。

だから、それは竹原だというふうに決められる前に言わなければいけないことだと思います。順序が逆だと思います。これは意見です。

【回答５】　わかりました。

【意見６】　だいぶ遅くなって参りました。もう説明会を続けるのはちょっと無理かと思います。皆さん、どうも遅くまでご苦労さまでございました。

先ほども言いましたように、優良農地であるという部分で１位のところを避けられた。また軟弱地盤であるということで避けられたということですが、その辺は先ほども言いました観点から、私はどうかなという。選定委員会の結果を尊重しておられないなと考えております。また、先ほども言いました活断層の関係でも非常に危惧されるところでございます。

建設候補地周辺には子どもたちが通う保育園、小学校、福祉施設のほか、国宝等重要文化財もあり、また稲作を中心とした優良農地が広がっております。こうした観点からの地域振興策が講じられるべきであると考えます。

さらに、秦荘東小学校区は高齢化率も高く、超高齢社会に突入している中、この地にごみ処理施設ができるという話を聞いたという若い人から、この地には戻りたくないというような声があるというふうに聞いております。こういったことからますます人口流出が起こり、少子高齢化がさらに進むのではないかということが危惧されております。

蚊野では 3 月 25 日に開催いたしました総集会におきまして反対議決をいただいたところであります。以上、改めて反対理由を申し上げまして、竹原を建設予定地として進められている新ごみ処理施設建設に対する反対を表明しているところと引き続き連携し取り組みを進めていくことを表明いたします。以上です。

【事務局】　皆さん、終わりになりましたが、夜分お疲れのところ遅くまでおつき合いいただきましてありがとうございました。皆さんから竹原ありきになっているといったご意見、また環境への影響の懸念の部分もいろいろご意見をいただきました。こうしたご意見と合わせまして、6 月中旬ごろにパブリックコメントを予定しておりまして、そういった皆さんからのご意見等も踏まえて今後計画に、今日説明させていただくことはできませんでしたけれども、計画についての案を検討してまいりたいと考えております。

今後もまた適時こうした説明会、また先進地施設の見学会も行わせていただければと思っ

ておりますので、ご参加のほど、よろしくお願いします。
それでは、以上をもちまして本日の説明会を終わらせていただきます。長時間本当にありがとうございました。

以上